

チーム・レーシング・スタート方式

(例 1: Optimist European Team Racing Championship 2007)

- 11 スタート
- 11.1 下記のスタート方式を使用する。規則 26 は適用しない。
- 11.2 次に対戦するチームは、チーム番号を表す 2 枚の旗によって指示される。旗はチーム番号がついた白色旗である。(以下、識別旗という)識別旗は視覚信号として用いられる。
- 11.3 スタートの手順

(方式 1)

予告信号: 識別旗掲揚	長音 3 声	(スタート 3 分前)
準備信号: P 旗掲揚	長音 2 声	(スタート 2 分前)
1 分前: P 旗降下	長音 1 声	(スタート 1 分前)
30 秒前:	短音 3 声	
20 秒前:	短音 2 声	
10 秒前	短音 1 声	
スタート信号: 識別旗降下	長音 1 声	

- 11.4 信号は一番初めの信号を基準として計時される。
- 11.5 艇は、スタート信号の 2 分以降はスタートできない。
- 11.6 これに続くレースの予告信号は、前のレースのスタート後、レース委員会の裁量により、任意に発せられる。
- 11.7 リコール
スタート信号時に、艇が規則 29.1 に従わなければならない場合、レース委員会は速やかに音響信号一声と共に X 旗を掲揚し、その艇のセール番号を呼ぶ努力をする。信号はスタート信号後 2 分以内とする。レース委員会はリコール及びその解消した艇に対しては、口頭で伝えるが、あくまでも責任は艇にある。これは規則 29.2 および 41 を変更している。

(例 2: ISAF Team Racing World Championship 2005)

- 10 スタート
- 10.1 次に対戦するチームのメインセールの色を示す旗を、レースの予告信号に先立ちレース・コミッティー・ボートに掲揚する。
- 10.2 レシーケンスが始まる前、注意を喚起するために、連続短音が発せられる。
- 10.3 音響信号が適用される、さらに補助の視覚信号も使用される。
- 10.4 信号は一番初めの信号から計時される。
- 10.5 レースは次のとおりスタートする。これは規則 26 を変更している。

(方式 2)

信号	音響	スタートまでの時間(分)
予告信号	長音 3 声	スタート 3 分前
準備信号	長音 2 声	スタート 2 分前
	長音 1 声, 短音 3 声	スタート 1 分 30 秒前
	長音 1 声	スタート 1 分前
	短音 3 声	30 秒前
	短音 2 声	20 秒前
	短音 1 声	10 秒前
	短音 1 声	5 秒前
	短音 1 声	4 秒前
	短音 1 声	3 秒前
	短音 1 声	2 秒前
	短音 1 声	1 秒前
スタート信号	長音 1 声	0

- 10.7 規則 29.1 は次のとおり変更する。
 - a) X 旗はスタート信号後 2 分以内掲揚する。
 - b) レース・コミッティーは、リコールした艇のセール番号を呼ぶ。競技者がこの声を聞かなかったことは救済の根拠にならない。これは規則 62.1(a)を変更している。
- 10.9 スタート信号後 2 分以上遅れてスタートする艇は DNS と記録される。これは規則 A4 を変更している。

(例 3:IODA World Sailing Championship Team Racing 2010)

13 スタート

13.1 レースは次のとおりスタートする。

(方式 3)

信号	スタートまでの分	音響信号	視覚信号
予告信号	3	1 声	クラス旗掲揚
準備信号	2	1 声	P 旗掲揚
1 分前	1	1 声	P 旗降下
スタート信号	0	1 声	クラス旗降下

これは規則 26 を変更している。

13.4 レース番号およびチームの国コードは、予告信号以前に、レース・コミッティー・ボートの後部に掲揚する。……

13.7 スタート信号後 2 分以上遅れてスタートする艇は審問なしに DNS と記録される。
これは規則 A4 と A5 を変更している。